
台湾・斗六 R C を 訪問して

真岡 市村 忠男

二月十九日、宇賀神裕一会长夫妻と会員の
総勢二人で台湾・斗六^{トロク}市の斗六ロータリーク
ラブ(RC)を訪問しました。



書道コンテストに入賞した生徒を両クラブ一緒に表彰

当クラブと斗六R Cは一九八三年五月に姉妹クラブを締結し、三四年目になる現在まで交流を続けています。当初は毎年相互訪問して合同例会を開催してきましたが、会員の高齢化もあり、現在は一年ごとに交互に訪問しています。今回の訪問も合同例会を通じてクラブ間、会員間の親睦を図ることが目的です。

真岡市を朝四時に出発し、台北松山空港に午前十一時三〇分到着。空港で斗六R Cの会員十数人の出迎えを受け、初訪問の私は、大変驚きました。さらに斗六から四時間もかけてバスで迎えに来てくれたことを知り、感謝の念でいっぱいになりました。

車中は、日本語を流暢に話す斗六R C会員の通訳で自己紹介を行い、会員同士が旧交を温めたりして、とても和やかな雰囲気の中、有意義な時間を過ごしました。

斗六市と真岡市は当クラブの仲立ちで友好都

市関係を結びました。さらに中学校同士が姉妹校になるという関係もあり、夜六時から始まった合同例会には斗六市長、正心高級中学校の校長も出席していました。

例会中、書道コンテストで入賞した生徒たちに両クラブ合同で表彰状を授与しました。懇親会ではカラオケ大会が始まり、斗六R Cの会員には演歌を日本語で歌って歓迎していただき、当クラブ会員もお返しにと歌い、大変盛り上がりしました。

終了後、斗六R Cの会員から二次会に誘われた会員、校長から誘われた会員と分かれましたが、双方ともに親睦を深めた一日となりました。

異文化交流を通して、自分たちの現状を考える良い機会になりました。姉妹クラブを締結した当時の会員がなくなり、さらに高齢化が進む中、いつまで交流が続けられるのか。大きな課題が目の前に立ちはだかっていると感じた訪問ともなりました。

斗六R Cの皆さまのご厚意に感謝。

(第二五〇地区 栃木県 司法書士)